

フィジカルアセスメント技術試験（技術中間評価）の結果報告

1. 実施：2019年1月30日（金）1限・4限・5限
2. 対象：2年生76名
3. 方法：**OSCE**：Objective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）をモデルに
共通基本技術+フィジカルイグザミネーション+アセスメント全11項目を25点満点で評価。
4. 所要時間：技術評価10分+アセスメント15分+グループリフレクション30分で構成
5. 評価担当教員：基礎看護領域6名を含む11名
6. 結果：表1. 表2. 表3. 図1参照

平均得点は、17.5点(10-24)、得点率68%(40-96)であった。目標得点率の70%には届かなかったが、昨年度より平均点で2.3点(≒10%)上昇、高得点者が増え、分布も右側にシフトした。得点範囲の差は17点から14点に縮小したが、個人差が大きいことは課題である。

技術項目ごとの平均得点率では、共通基本技術の得点率が61%と相対的に低い。11の評価視点で、得点率70%以上は5項目のみであり、3項目は50%未満と低いが、技術の難易度が高いとは言えない。むしろ、比較的平易な技術だからこそ身につけにくいという共通基本技術の特徴を示しているといえる。1年次の既習技術との統合や、技術修得レベルを模倣から自動化のレベルへ高めていくことが、領域実習での技術指導の課題と考える。

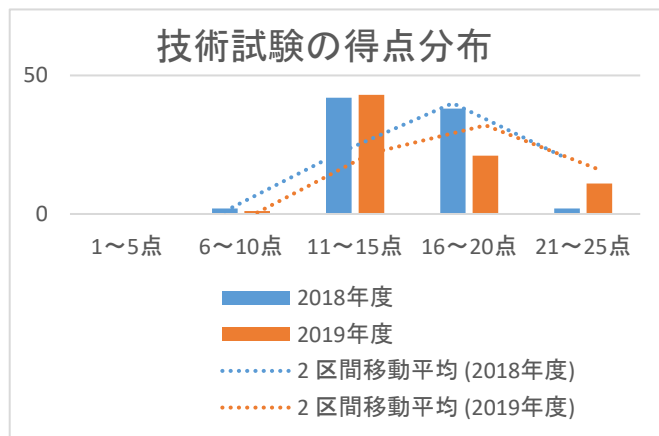
今年度、カリキュラム中間評価の一つに技術評価を位置づけ、学科内の協働体制を構築できたことは評価できる。学生の技術力の課題を共有しながら、3年次の領域実習へ活かしていくことや、技術力の客観的評価システムの構築は今後の課題とする。

技術試験の得点

	MAX	MNI	AV
2018年度	25	8	15.2
2019年度	24	10	17.5

技術試験の得点分布

	2018年度	2019年度
1～5点	0	0
6～10点	2	1
11～15点	42	43
16～20点	38	21
21～25点	2	11



技術評価項目別の得点率

No	評価項目	評価基準	AV	得点率	評価項目の得点率
1	共通基本技術	診察の目的、方法の説明をした	1.83	91.7	61.3
3		診察の準備をした(聴診器の点検)	0.90	44.9	
6		プライバシーに配慮した(掛物の使用)	0.95	47.4	
2	フィジカル イグザミネーション	脈拍回数を誤差2以内で測定した(記録にて確認)	1.01	50.6	70.6
4		血圧測定 of 誤差4以内である	1.12	55.8	
5		診察部位を適切に露出できた	0.83	41.7	
7		診察に必要なオリエンテーションを適切に実施できた	1.56	78.2	
8		はしご式でチェストピースを胸郭に当てられた	1.83	91.7	
9		各部位で1呼吸以上の聴診を行った	1.90	94.9	
10		肺野全体の診察を行った	2.45	81.6	
11		アセスメント	診察結果(2)とそれに基づくアセスメント(2)を記録した	2.76	